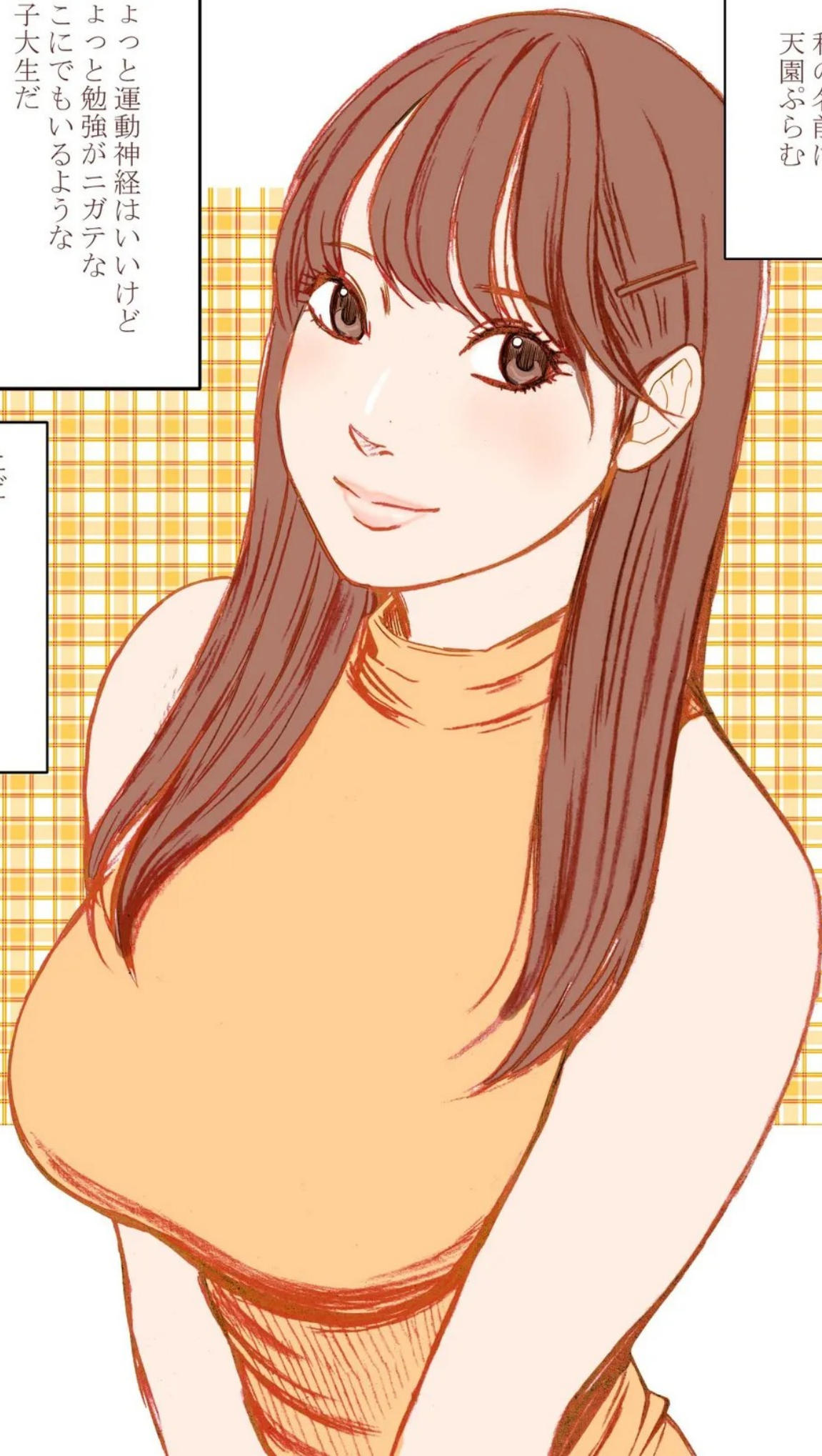


私の名前は
天園ぷらむ

ちよつと運動神経はいいけど
ちよつと勉強がニガテな
どこにでもいるような
女子大生だ

ただ
ひとつだけ
人と違うことがあって





それは

乳首が敏感
すぎること



何かの拍子で
ちよつと乳首に
モノがあたつただけで
感じちやうし

ホントに
いつも困ってて

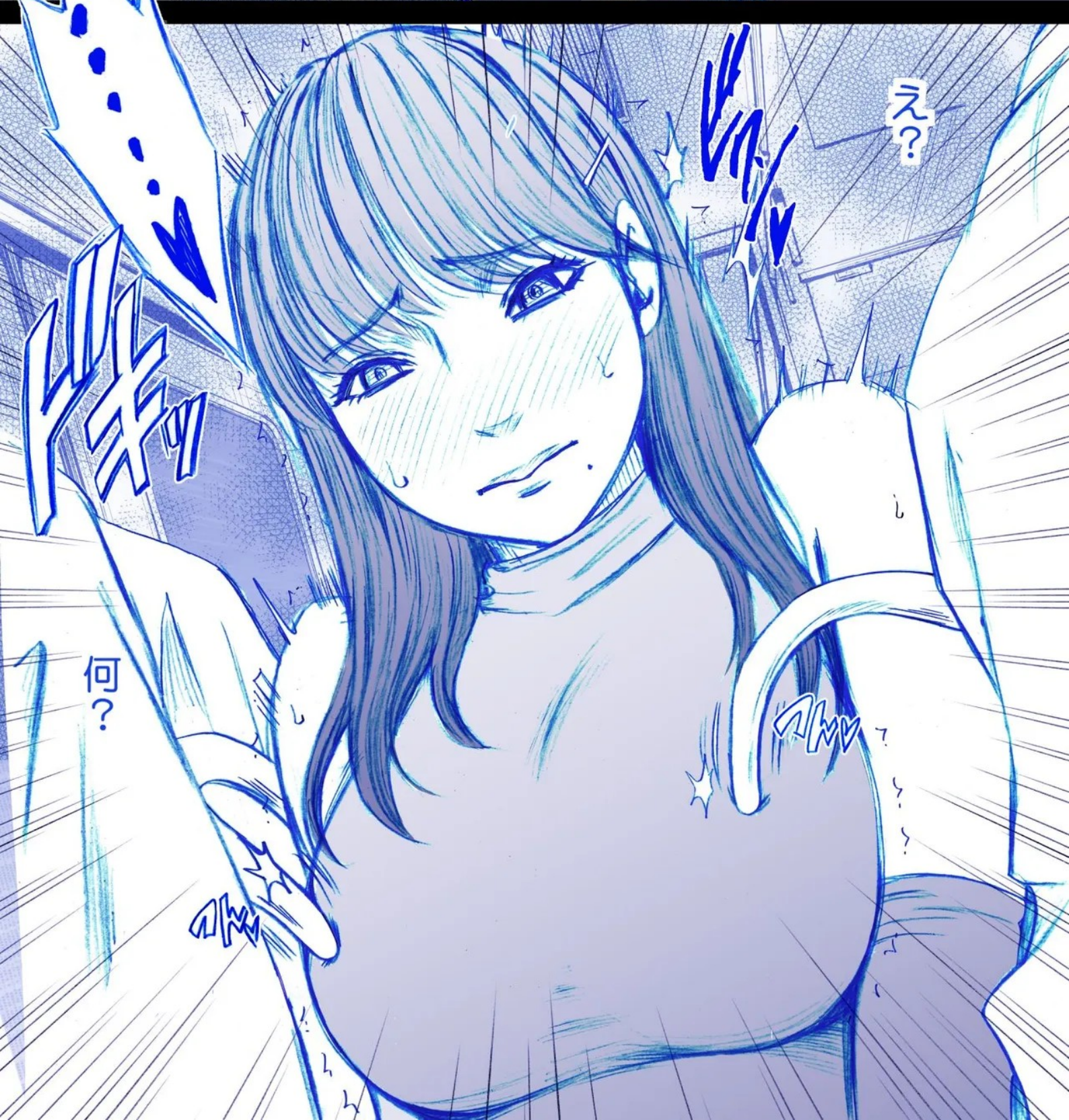
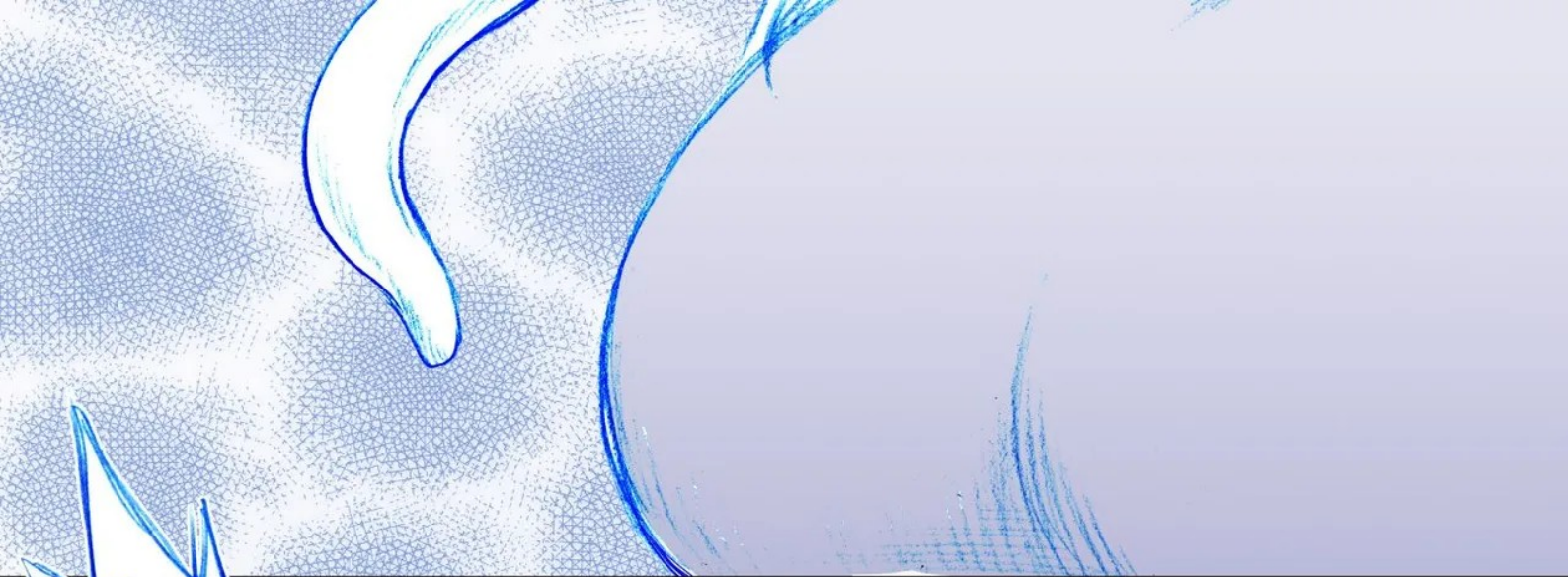


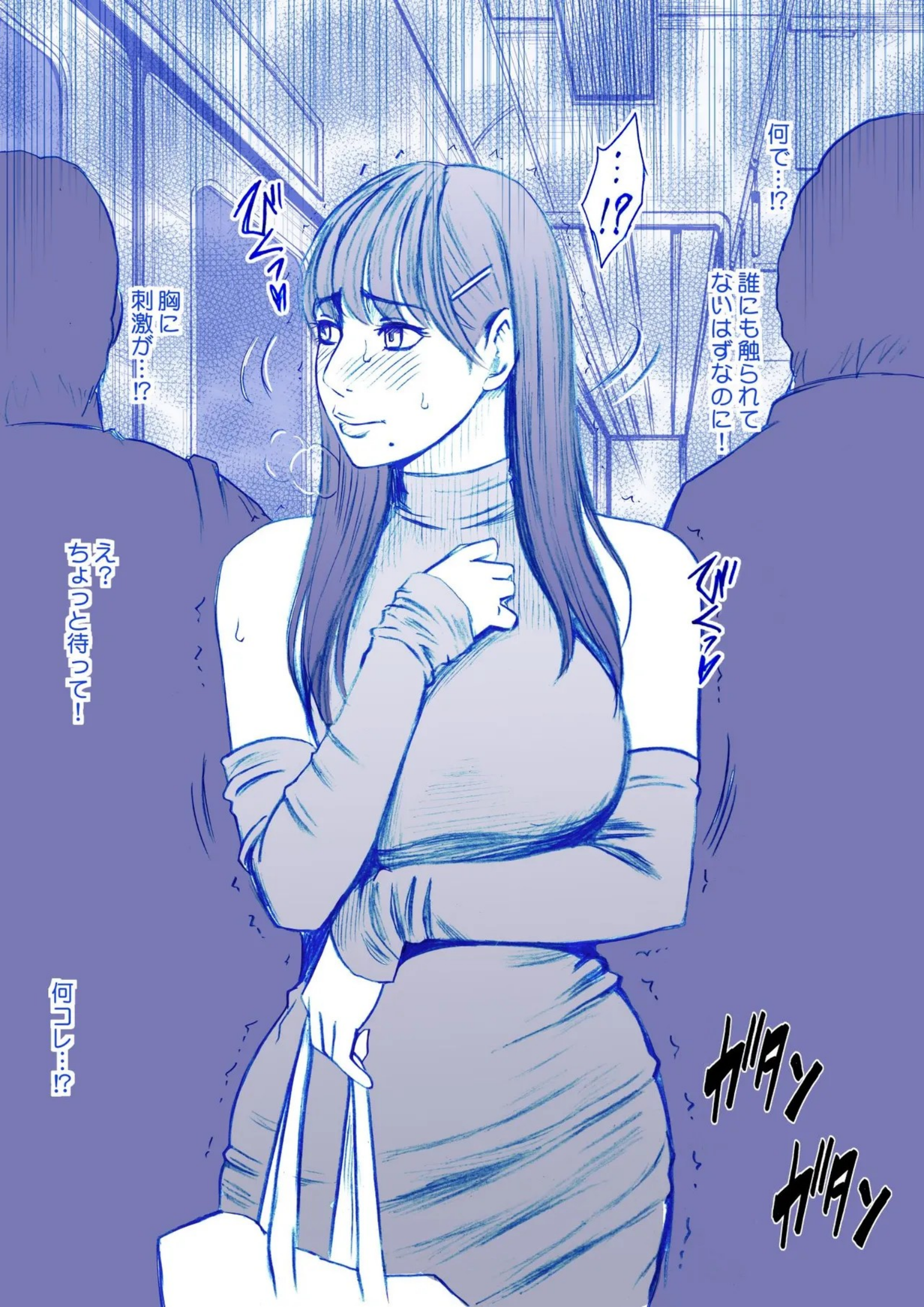
電車に乗るときなんかは
特に注意しなくちゃ
いけなくて

その日も
前後左右どこからも
不意に乳首に
誰かのヒジとかが
あたらないように

気をつけながら
安全なスペースを確保して
電車に乗ってたんだけど…

カタン
カタン





何で…!?

誰にも触られて
ないはずなのに!

!?

シシシ

胸に
刺激が…!?

シシシ

え?
ちよつと待って!

カタン
カタン

何…!

じつから見えん
これは…何!?

触手??

じつから
的確に乳首はつかう
擦る…?!

他の人には
見えてないの?!

何し!?!
あばけ!?!

いざ…!!

ダメ…!!

そこ刺激しないで!

乳首を
そんなになれたら……!

ー……



え？
待って！

ブラジャーが
勝手に
外れて…！

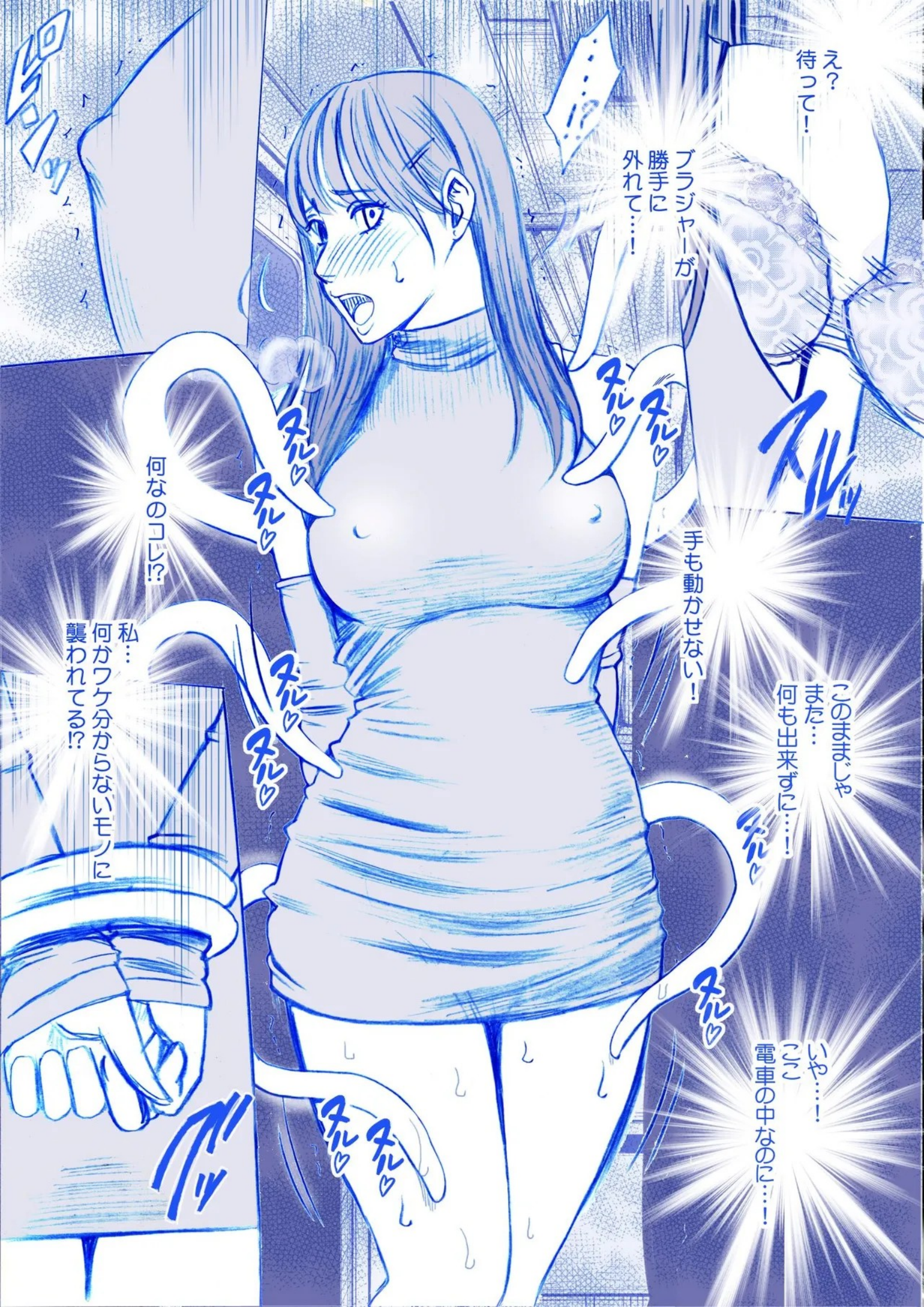
何なのコレ？！

手も動かせない！

このままじゃ
また…
何も出来ずに…！

私…
何かワケ分からないモノに
襲われてる!?

いや…！
ここ
電車の中なの…！



待って！

乳首を集中的に
責められる…！

無理！

ノーブラで
そんなに乳首を
刺激されたら…！

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん



やだー!

乳首ダメー!

ズンズン

ズンズン

ズンズンズン

ズンズン

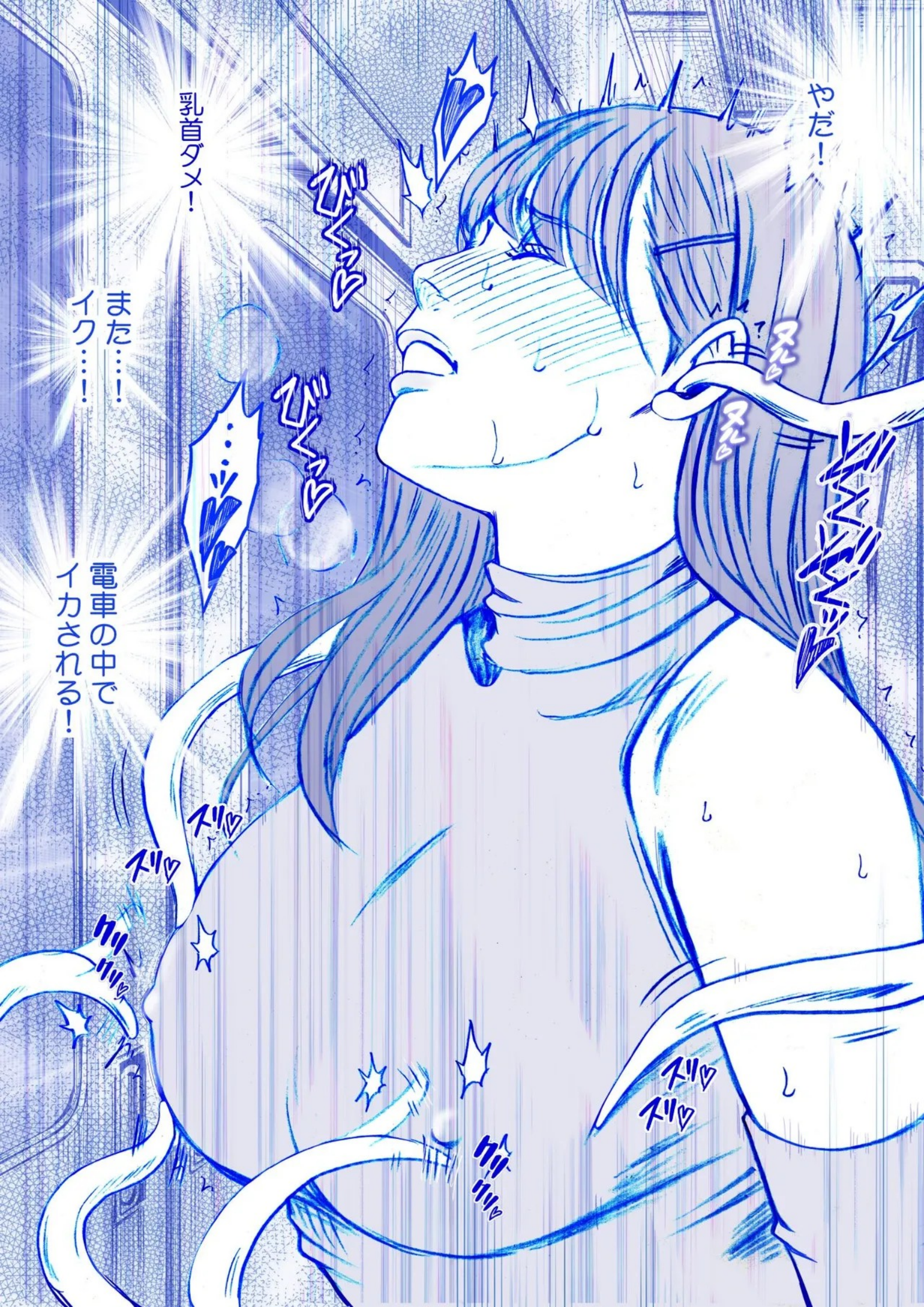
ズンズン

ズンズン

ズンズン

また…!
イク…!

電車の中で
イカされる…!



私…ダメなの！

乳首をそんなふうにならされたら
すぐにイッちゃっちゃうから！



フフフ
女よ
素晴らしじやなか

胸だけで
こんなにすぐに
絶頂に達するとは

これほど
敏感で官能的な乳房は
初めて見る

これは
100年に二人の
逸材だ

……!?

え?!

何!?! 何!?!



何かが
しゃべりかけてきて……!

もうダメ！
何も分からない！

乳首が
気持ちよすぎて……!

もう何も……!





『フッフ
気に入ったぞ女』

『私の名前は
エンラ』

『室町の時代から
生きる「淫魔」である』

『しばらくの間
お前の傍らで
その乳房を思う存分
堪能させてもらおうか』

何か
そのオバケは
そう言って

私の首に
首輪みたいな状態になって
まわりついてきて…

これ…
どうしたらいいの…??

びん

ほお

ほお

ほお

びん

びん